

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	人と自然に優しい乗鞍高原 トイレと花いっぱい事業
事業主体 (連絡先)	のりくら観光協会トイレプロジェクト 中原由紀子 090-8329-6357
事業区分	6 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	911030 円 (うち支援金: 715000 円)

事業内容

- ① 進化系トイレボックスの設置
簡易トイレに近い「Mt 富士方式」(別紙2)を購入。設置は積雪のため雪解け後となった。
- ② 啓蒙活動
 - ・ポスター・販売店用フラッグ作成(別紙4)
 - ・ウェブサイトでの広報・販売店勧誘
 - ・アンケートを実施(別紙3)
- ③ 利用済み携帯トイレを花に結びつけたトレ花事業
協会各施設に花苗・プランターを配布
申請時、専門家による効果的な運用法研修を実施予定であったが、先方の予定が合わず、来年度以降に見合わせる。
- ④ 乗鞍岳トイレサミットの開催(30年11月5日)
平湯公民館において松本市高山市よりの参加を得て、開催。(別紙5)
- ⑤ 先進地研修の実施(30年7月4日)
富士山五合目縫合管理センターにて、山梨県県民生活部、世界遺産富士山課、山岳整備担当、課長補佐、山本英治氏より現況報告を受けた。(別紙1)
- ⑥ 設備等の設置
 - ・常時点灯のソーラー照明を設置(別紙1)
 - ・携帯トイレ自動販売機設置(別紙1)
 - ・備蓄用倉庫設置



【トレ花事業作業】



【備蓄用倉庫設置】

【目標・ねらい】

- ① 観光地として集客増化
- ② 住民に取って有事の際の備え
- ③ 乗鞍岳周辺のニーズに合うトイレ事業を模索

※自己評価 **【B】**

【理由】集客は緩やかな増加であるが、観光客の携帯トイレに対する認知・意識が大きく増加していることを実感できた。今後は、マスコミとも連携し、更にPRに力を入れたい。

事業効果

- ① 携帯トイレ販売数 29年度:42個 30年度:76個
利用後回収数 29年度:19個 30年度:21個
ガイド会社お客様に対する携帯トイレ情報提供10%以上増
上記の内容から、携帯トイレ事業の効果が表れていると言える。
- ② 備蓄倉庫を設置し住民・観光客への備えができた。
- ③ トイレサミット開催により、広域の連携が継続され、豊平・肩の小屋付近・両県登山口、さらには焼岳・十石山のトイレ環境改善に向けての意識がさらに高まった。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

1 広域の連携

- ・トイレサミット開催：2019年11月5日
- ・トイレ情報を取り入れた高山・松本観光マップの作成
- ・どこで買ってどこへ捨ててもOKな環境作り

2 事業継続のための組織作りおよび、その経費調達

- ・現在設置中のボックスを定期的に点検、メンテナンスできるシステムを構築する。
- ・これまでボランティアによる活動を行ってきたが、永続的にするため、人件費等の予算立てを検討する。
- ・環境省 長野県 観光庁などにトイレ関連の助成をお願いする。

3 観光地としてのよりよいトイレ環境整備の構築

- ・携帯トイレにとどまらない、適材適所のトイレ環境整備の検討
- ・これまでの活動、現地の状況から必ずしも携帯トイレがベストではない場所がわかってきた。このような場所では、より通常のトイレに近い、「Mt 富士方式」(別紙2)を設置を検討している。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある